

魅足の園

-Mitari no Sono-

1



成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止



——魅足学園——
ここには
個性豊かな学生が
数多く在籍している

女子が多いのと
たまに男子が
行方不明になる以外
どこにでもある
普通の学校だ

僕の名前はケイ
ごく普通の高校生

…と言いたいところだが
実はかなりの足フェチだ

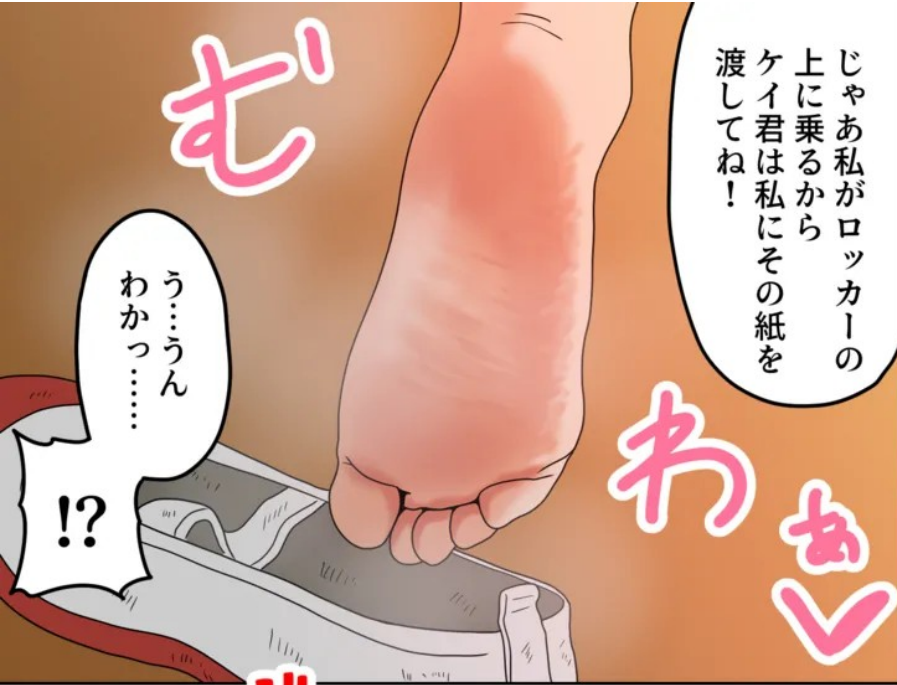
僕には好きな子がいる
同じクラスにいる
イノリという緑髪の女の子だ

ガラッ

僕はその子に足コキして
もらう妄想をしながら
毎日オナニーするような
変態野郎だった

あっ





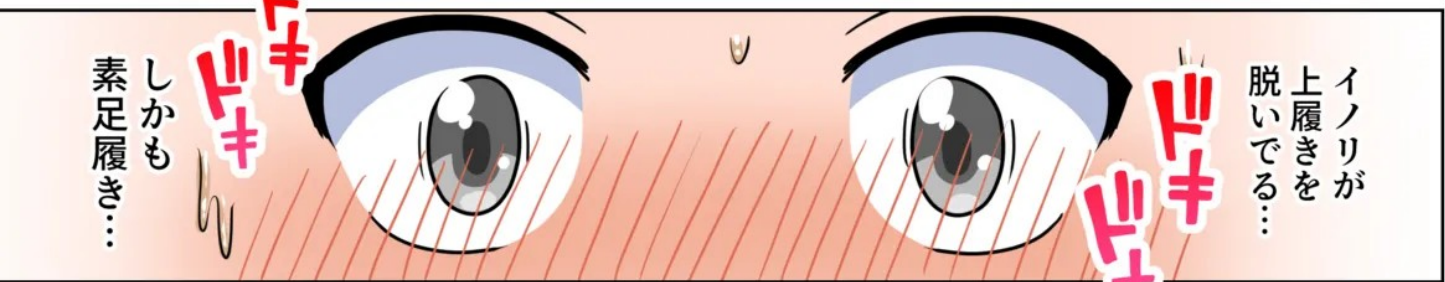
じゃあ私がロッカーの上に乗るから
ケイ君は私にその紙を渡してね!

あゝ



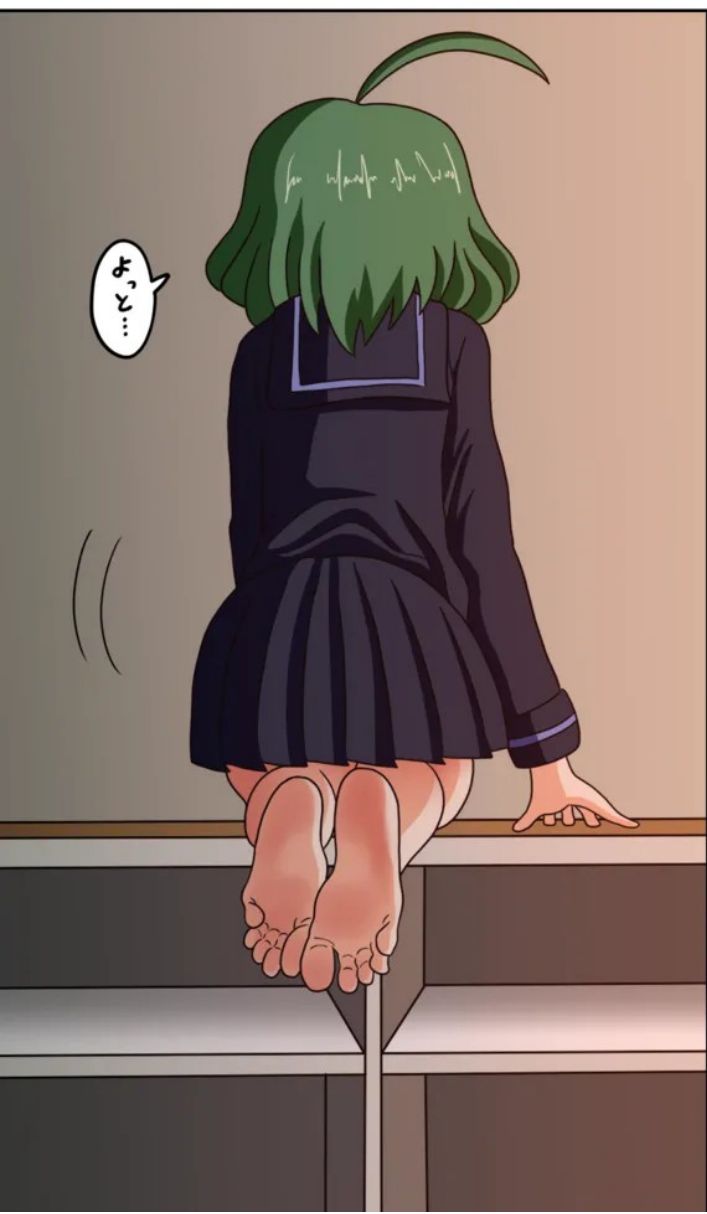
やった♡

い...いいよ
忘れ物取りに
来ただけだから

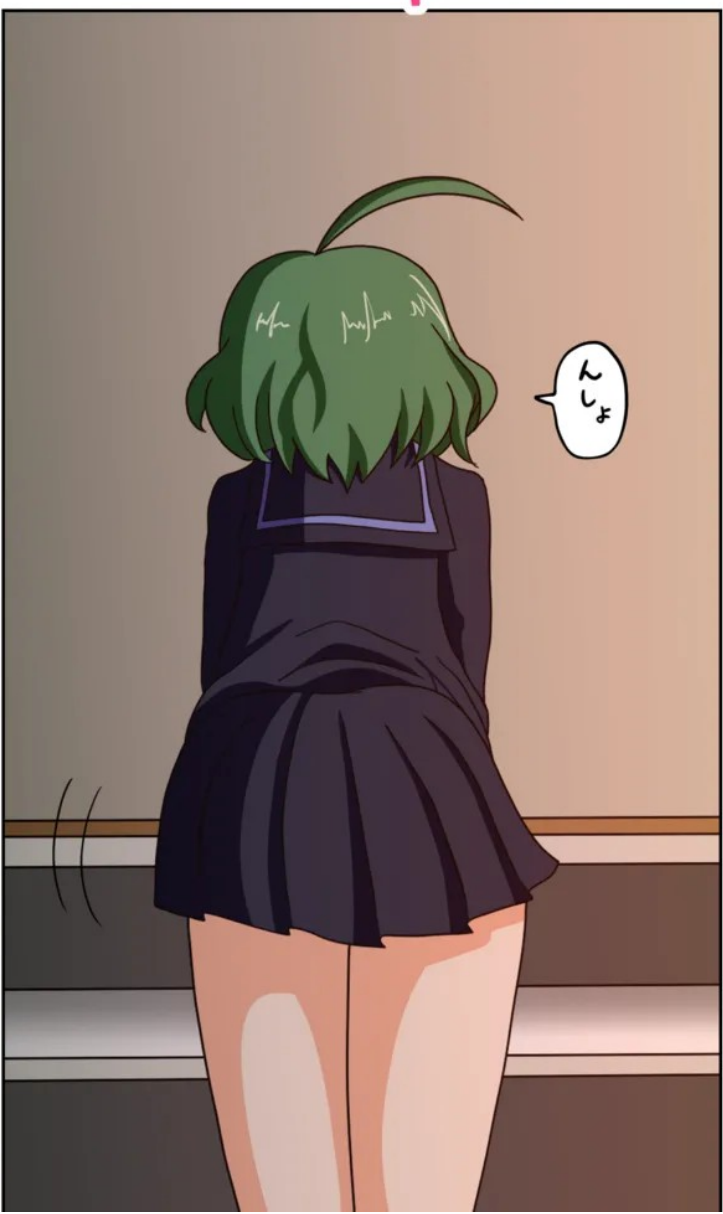


しかも
素足履き...

イノリが
上履きを
脱いでる...

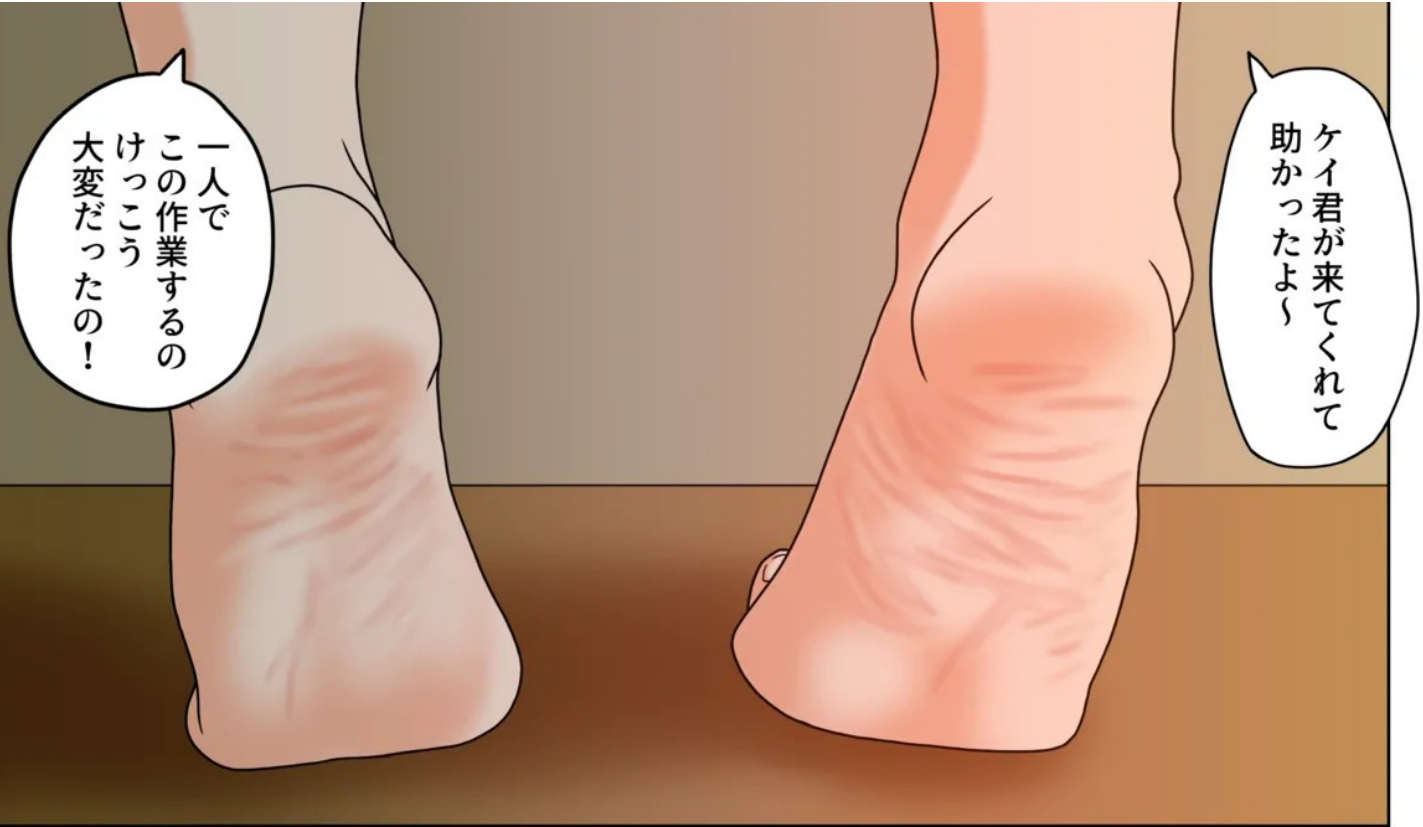


ちょっと...



んしょ





一人で
この作業するの
けっこう
大変だったの！

ケイ君が来てくれて
助かったよ！



ドカンッ



今…目の前に……



あれだけオナネタにしてた
イノリの足の裏が……



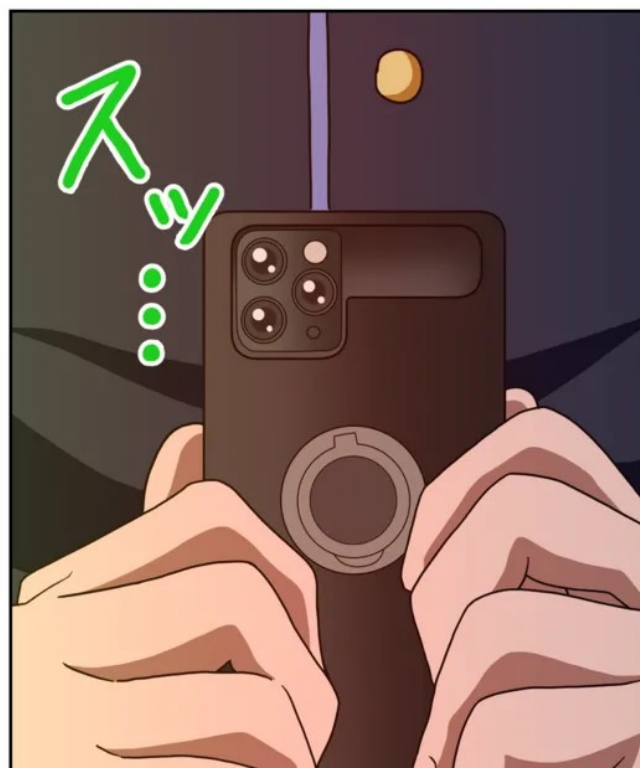
クン♡

クン♡



ハマ♡

ハマ♡







もしかして…

足を舐めても
怒らなかつたりして…



そういえばイノリが
怒ったところを
一度も見たことがない

少し天然な子だし
笑って許して
くれるんじゃないか？



そうだよ
イノリならきつと
許してくれる

だいたい
僕の目の前で
無防備に足裏晒してる
イノリも悪いんだ…
こんなの…こんなの…



耐えられるわけがない！



あ…危ない…
バレるところだった!
何を考えてるんだ
僕は…っ!

な…
何でもないっ!

どうしたの?

ケイ君?

!?

ドキ
ドキ



じゃあねケイ君
また明日♪

またね
イノリ!

せっかく
2人きりだったのに
結局何も
できなかった…

ぜ…全然!
またいつでも
手伝うよ!

今日はありがとう!
すごく助かった

その日の夜…



はあ…はあ…っ♡
イノリの美味しそうな
足の裏…♡

もう少しで
舐めることが
できたのに…♡！♡



イノリと
付き合いたい！

イノリの
彼氏になれば…

ムム

ムム

ムム

ムム

あの足で...

して欲しいこと
全部叶えて
もらえるのにつ...!!

びゅんびゅん♡♡

うっ...♡
イクツ!!♡

ドクドク

ハッ♡

ハッ♡



何やってんだろ...

俺...







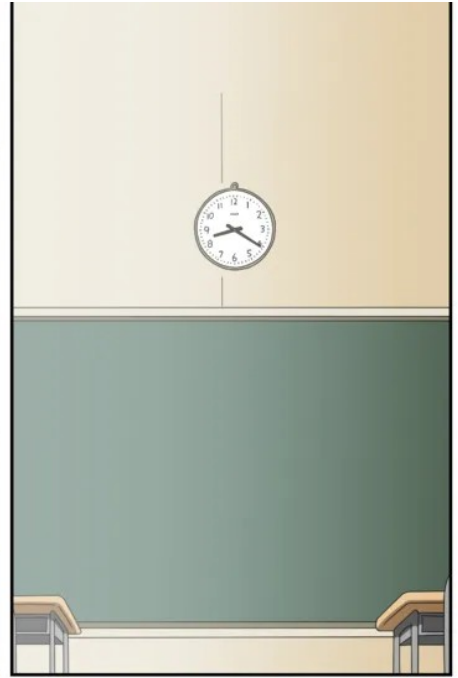
ていうかアレ
本当に気付かれて
なかったのかな…？



げっそり…

しかも
好きな子に…

やってしまった…
盗撮なんて
最低な行為を…



気付いてたんじゃ…

もしかしたら
本当は全部…

もし足を舐めようとしたり
盗撮したりしたことが
イノリにバレていたとしたら…

は…？
私と付き合いたい？

私の足裏の写真で
オナニーするような変態と
付き合うわけないでしょ

ほら…
私の足の裏
見せてあげる

だからそこで
オナニーして
見せてよ

あ…
あ…

教室でチンポ
シゴいてるところ
写真に撮って
あげるわ…♡

私の足の裏を
盗撮したんだもの
当然の報いよね？

よね？

よね…

いや！
これはこれで
おいしい
展開だけど…

やっぱり
イノリには
嫌われたくない！

おはよう
イノリ

！

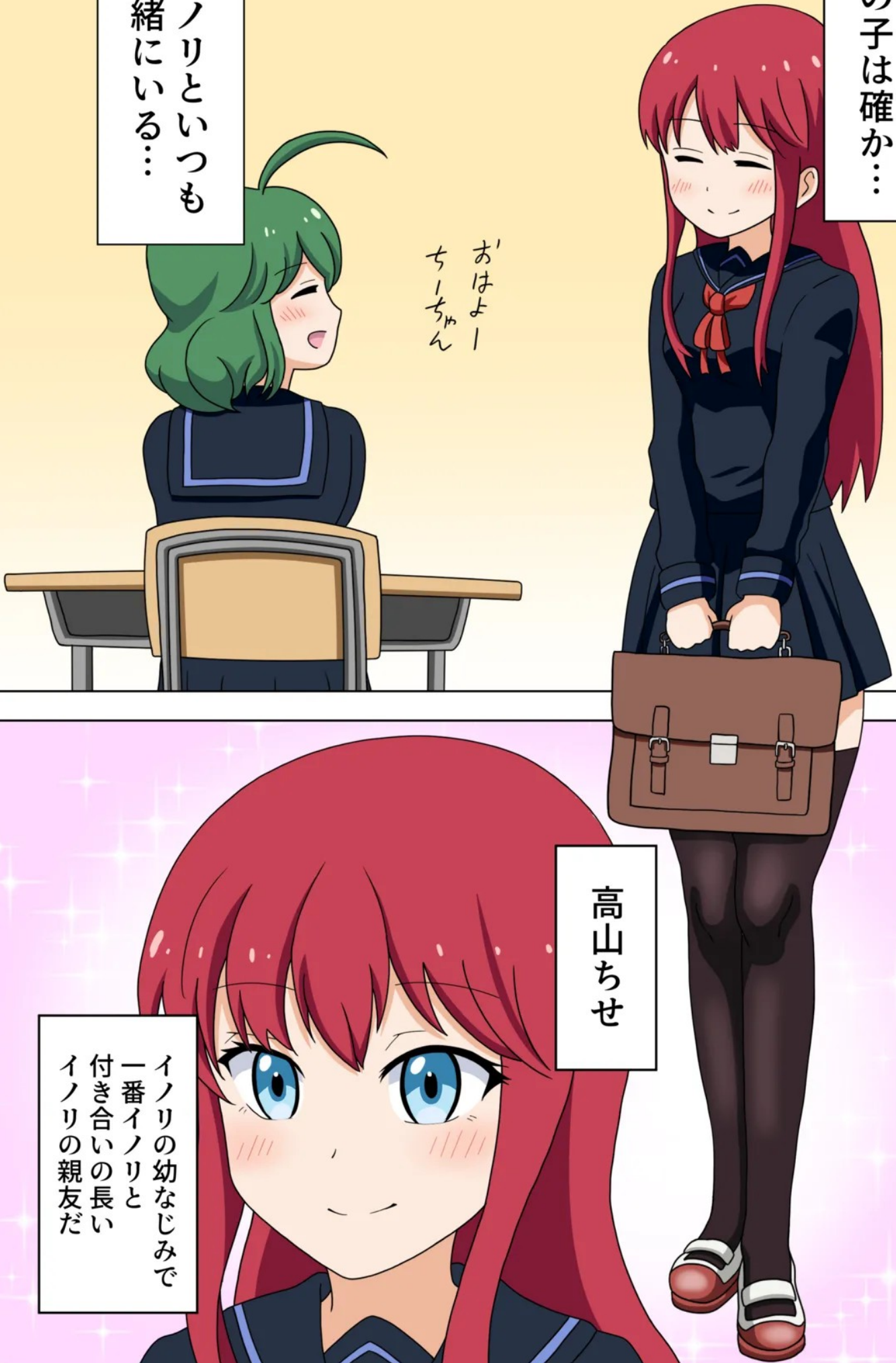
あの子は確か…

イノリといつも
一緒にいる…

おはよー
ちーちゃん

高山ちせ

イノリの幼なじみで
一番イノリと
付き合いの長い
イノリの親友だ









真実



確定だ…っ！

盗撮したこと…
絶対にバレてる…っ！！

あの逃げ方…もはや生理的に
俺を受け付けられないんだろう…

やばい泣きそう…

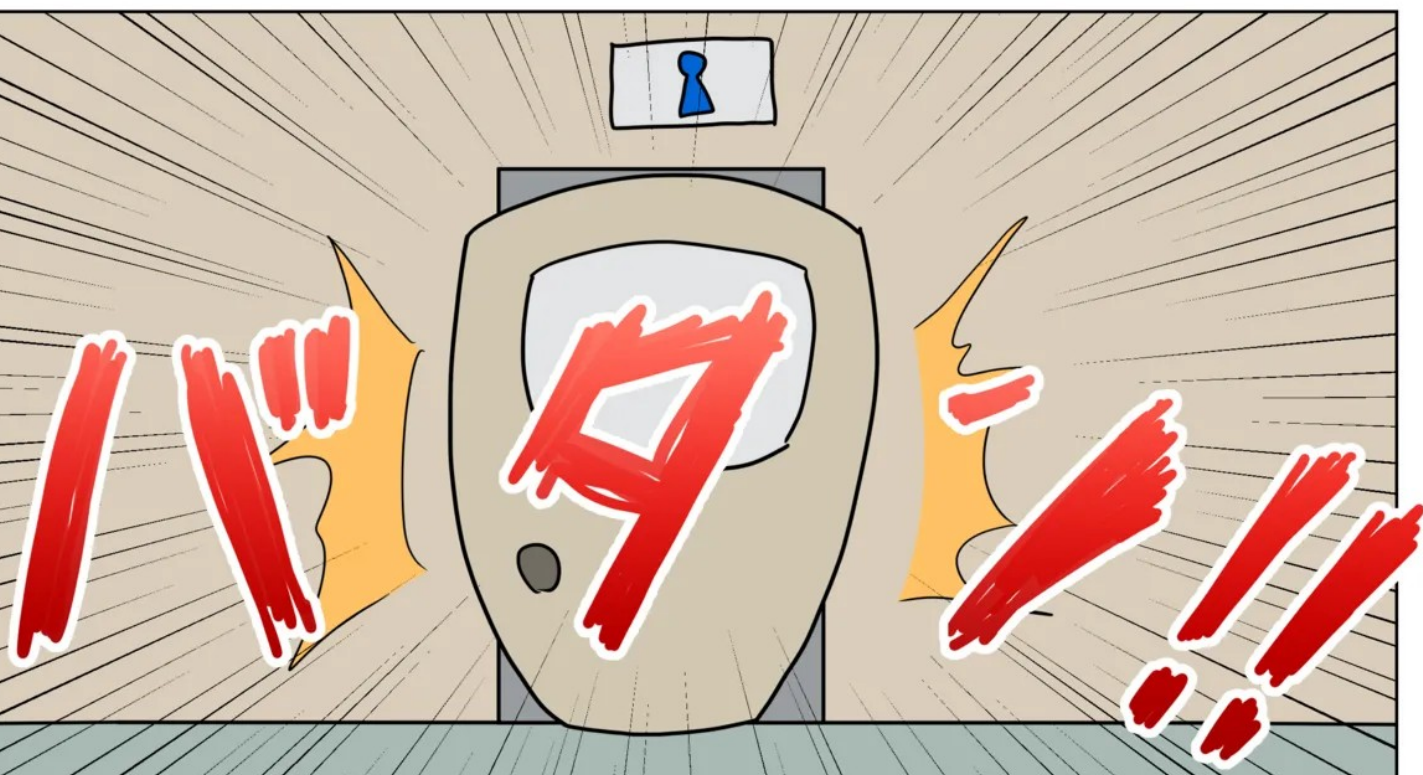
はあ…上履き
返しそびれ
ちゃった

この上履き
どうしよう…

どうしよう…

つて…
俺は一体
何を考えている…？

そんなことしたら
罪の上塗りだぞ…？







これが…

チセの
足のおい…

なんて上品な



香りなんだ！



ほくっほくっ

たいへん

美味しゅう
ございました♡



あれ…？

おかしいなあ…



ケイ君たち

どこ行っちゃった
んだらう…？



ほのかに汗ばんでいるが
鼻をつんざくような刺激臭はない

きっと定期的にも履きを洗っているんだ
チセのマメな性格を物語っている

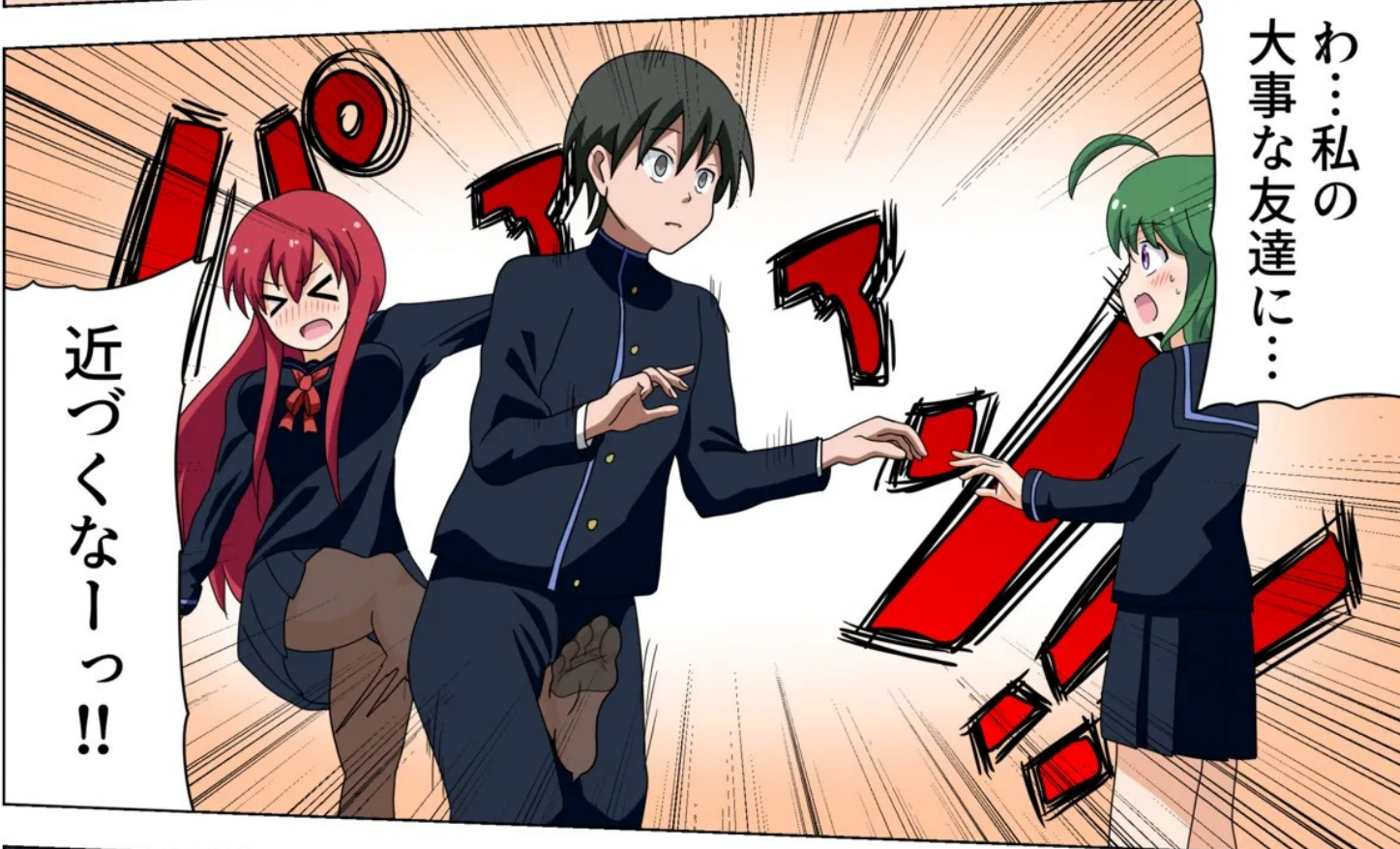
美少女なのに足がクサイという
ギャップこそ足フェチの醍醐味と
思っていたが清潔感のある足も
また情緒があって奥が深い(早口)





えっ…
とら…とは…

さっきまでののは
全て俺の勘違い…？



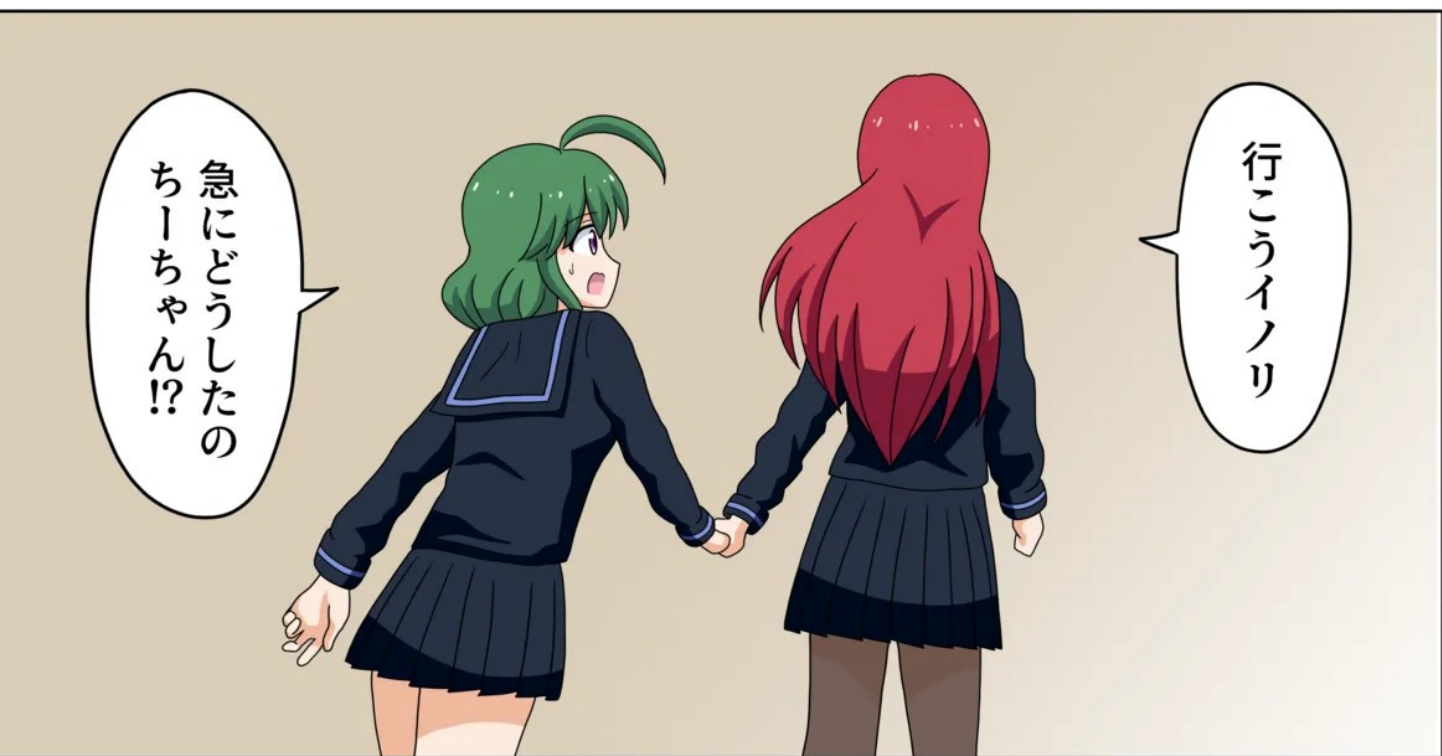
わ…私の
大事な友達に…

近づくなーっ!!



あ…あ…ッ









Guardian

あれ以来…

チセの鉄壁のガードにより
イノリに近づくことが
出来なくなつた…

でもイノリは相変わらず
普通に話しかけてくれる

ケッ
おはよー

それどころか
ちっとも軽蔑されて
いる様子はない

てっきりチセは
「俺が足フェチの変態野郎」だと
イノリに告げ口したと
思ってたんだけど…

ほす

もしかして俺の面子の為に
黙ってくれてるのかな…

……ん？

なんだ？
後ろの席からメモが…

授業がおわったら
休み時間に
3Fの空き教室
に来ること！
MAO ♡

げっ！
これは…っ

広湖まお

小柄で可愛らしい見た目だが
高飛車で他人の弱みにつけ込む
小悪魔のような女の子だ

マオは他人の噂や情報に敏感だ
このタイミングで俺に接触するのは
何か理由があるはず…

彼女の目的を確かめないと…っ！

いや…別に…
用件はなに？

そんなに
警戒しないでよ

見たって…
まさかっ!?

私さあ…このあいだ
教室を通った時
見ちゃったんだよね





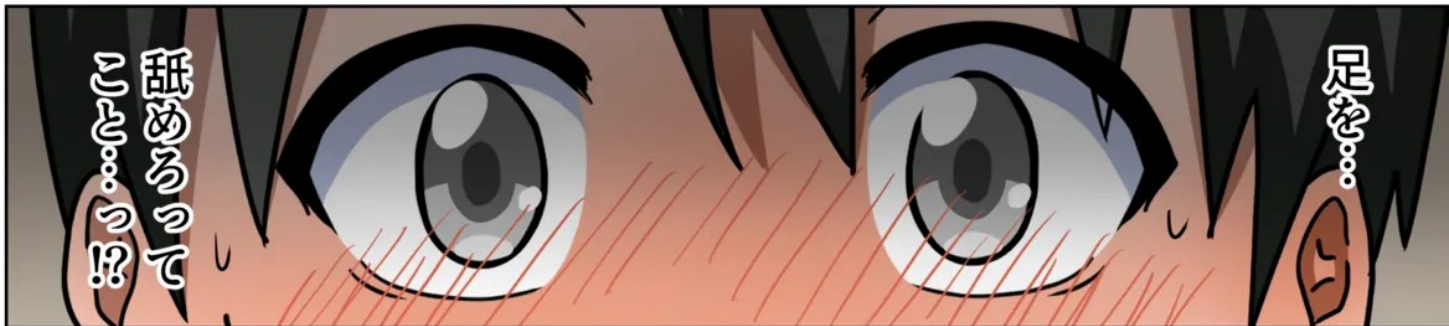
ほら
何をすればいいか
分かるでしょ?

スツ...



すとんっ

?



舐めろって
マジ...!!

足を...



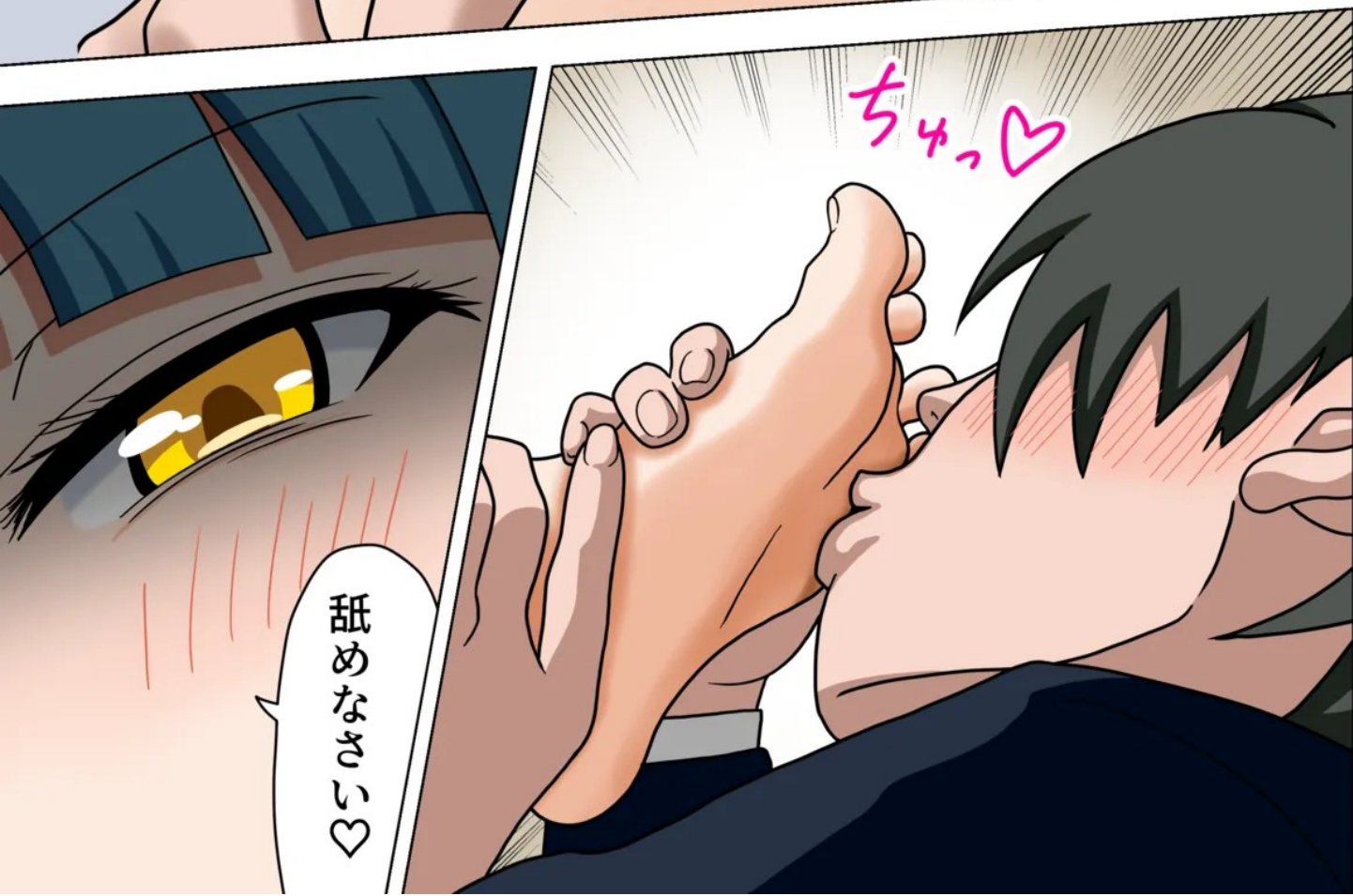
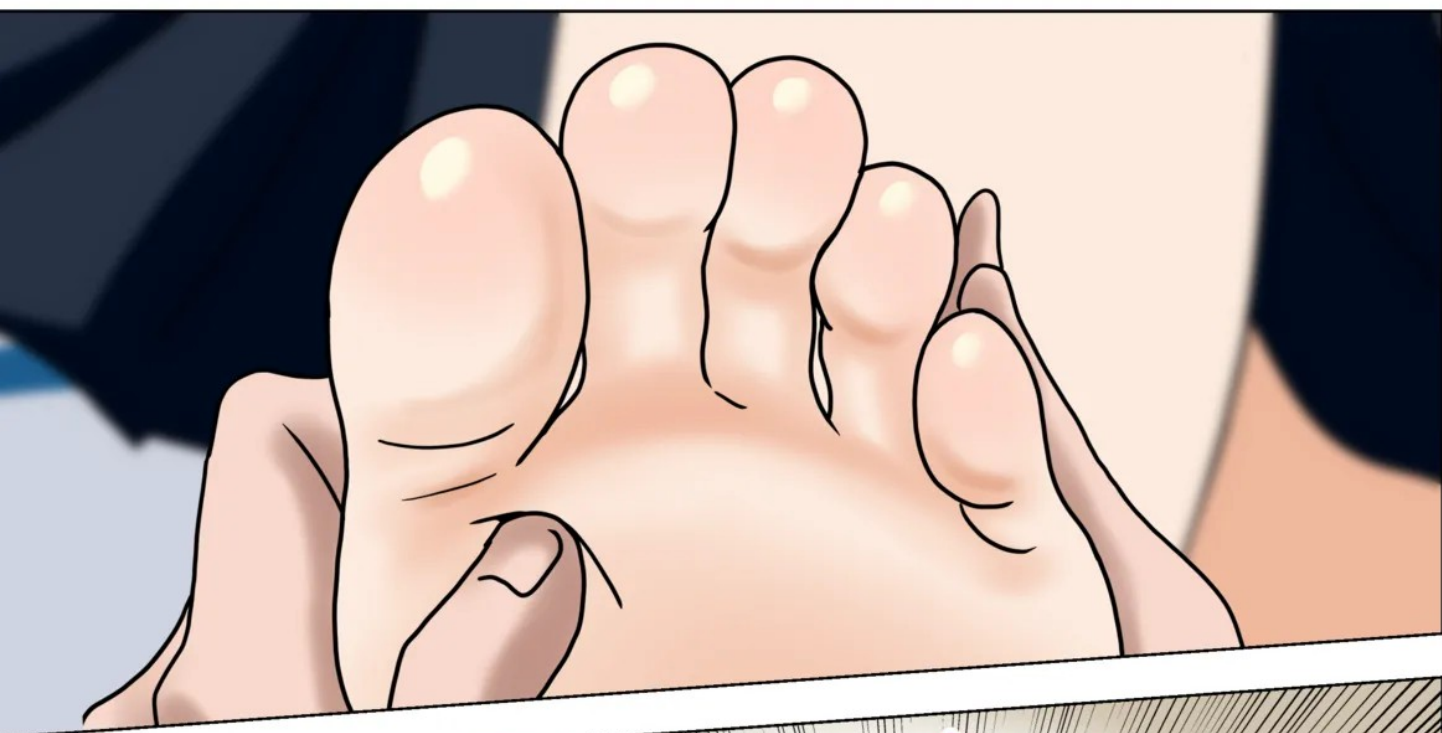
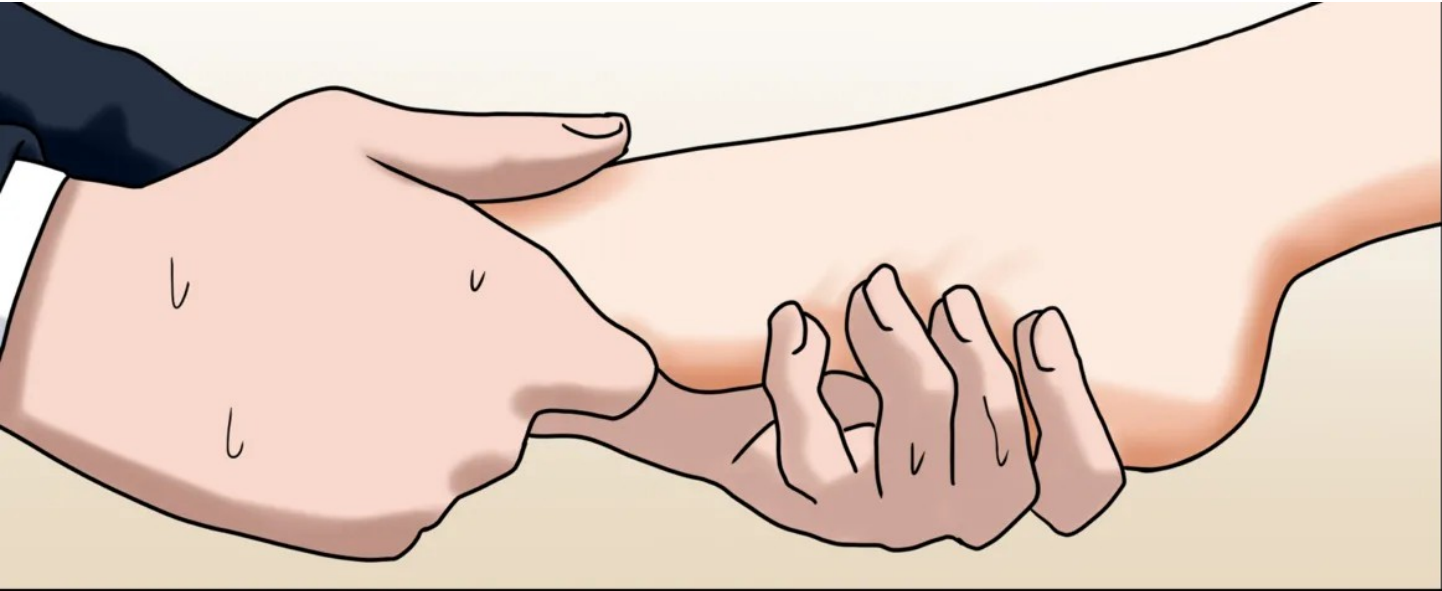
従わなければ
写真をリークされる...

だからこれは
仕方がないんだ...



ドキ
ドキ

ドキ
ドキ



舐めなご♡

ちやっ♡



正直に言えば
私の足でもっと
気持ちいいコト
してあげる♡

でも嘘をついたら
もうこの遊びはおしまい

チャンスは一度だけ…
さあ…答えなさい？

お…俺は…

俺は…

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ



そこに仰向けになりなさい♡

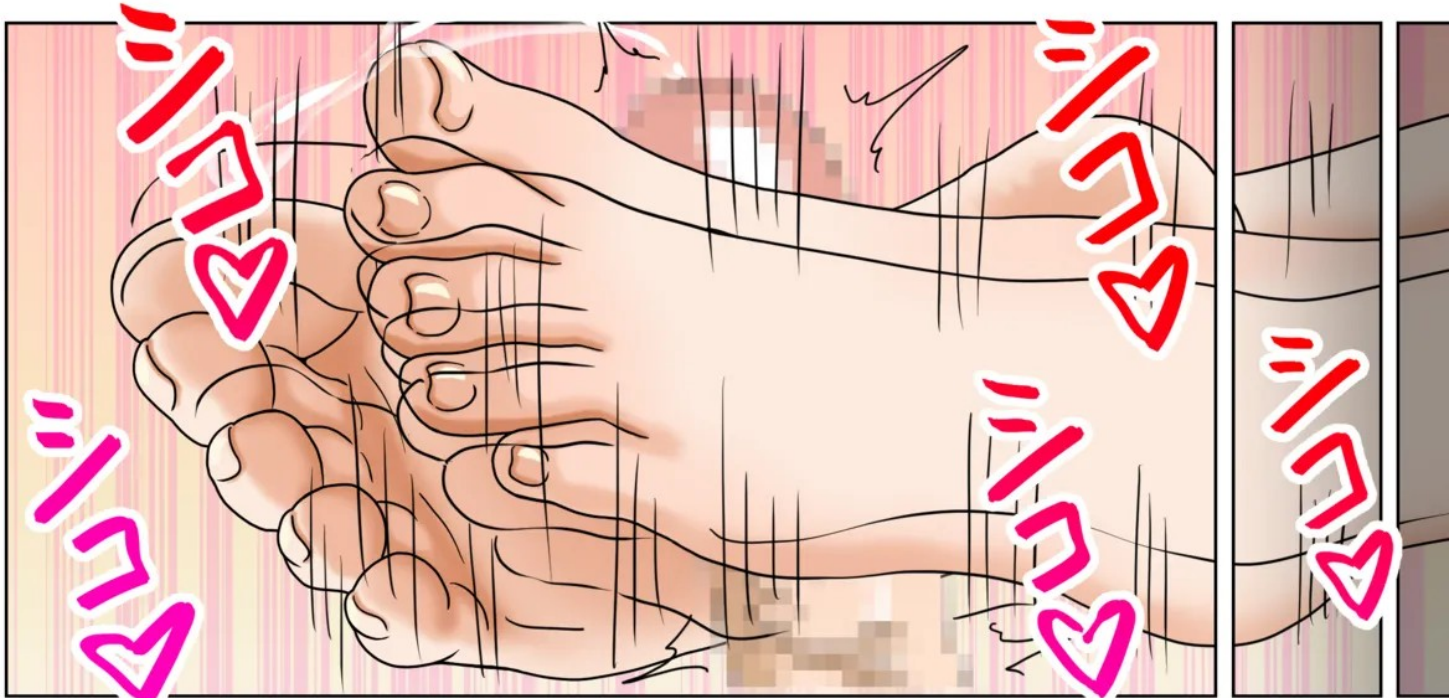
いい子ね…♡



もじょ…

マオの足が舐めたい…です

むにゅ♡



ぽーい

ズボン邪魔!



意地を張ってもムダ♡

アンタが足フェチだってことはすでに調査済みなんだから♡

ムにゅ♡

ムにゅ♡

ムにゅ♡

ムにゅ♡



ほおくら♡
シコシコ
気持ちいいね♡

素直ないい子には
いっぱいご褒美
あげまちゅからね♡

にゅち♡
にゅち♡



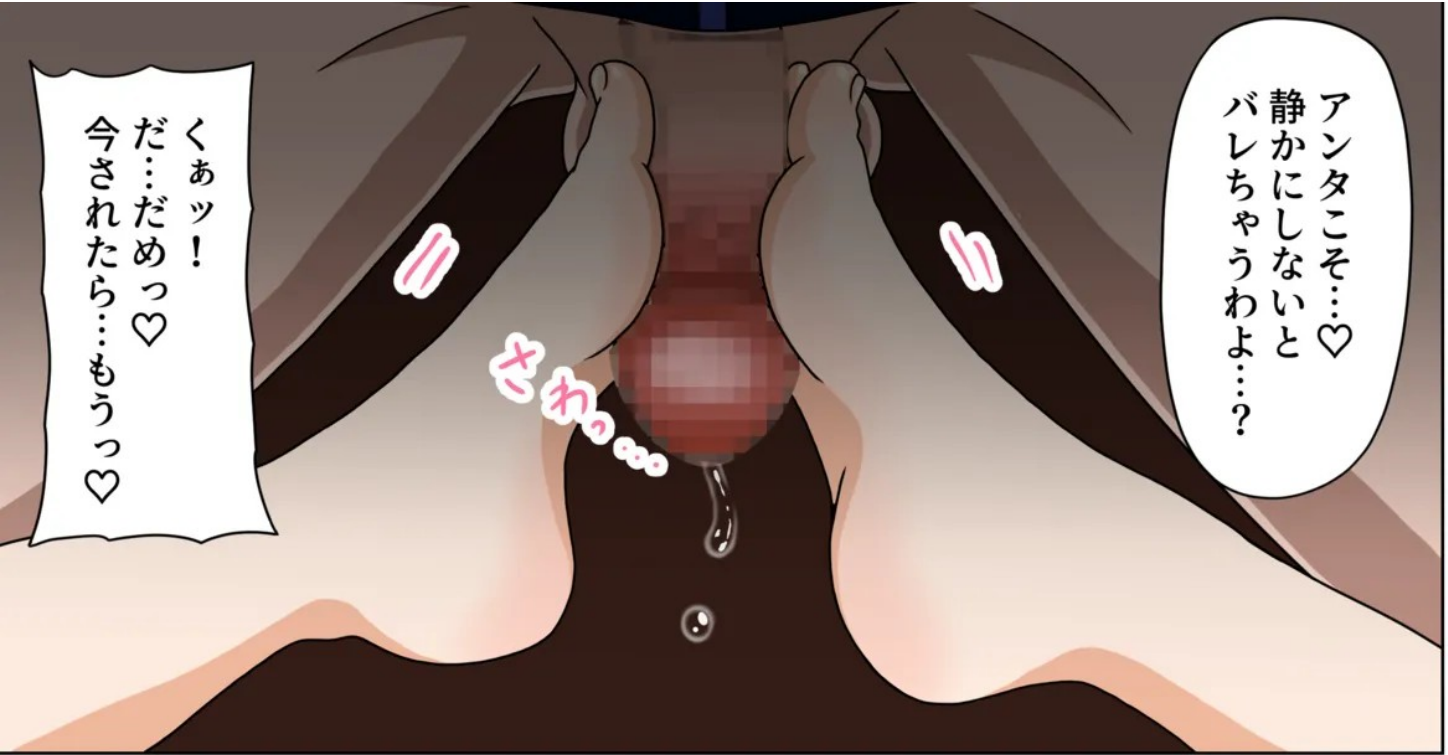
それだよ

あああああ♡
もうダメ…♡
いっちゃうっ♡

ぐわん♡
ぐわん♡

!!!





アンタこそ…♡
静かにしないと
バレちゃうわよ…？

くあッ！
だ…だめっ♡
今さらたら…もうっ♡

せわっ…



その表情…
たまらないわあ…♡

それなら
ひとつ条件が
あるわ…♡



ま…マオ！
イノリにだけは
本当にバレたくないっ！

なんでもするから
助けてよお！

ハア…♡

ケイ…

私の奴隷に
なりなさい



でもマオの奴隷になる
という事は……

もうイノリとは……



ど…奴隷!?

そう…
私専用の足奴隷よ♡

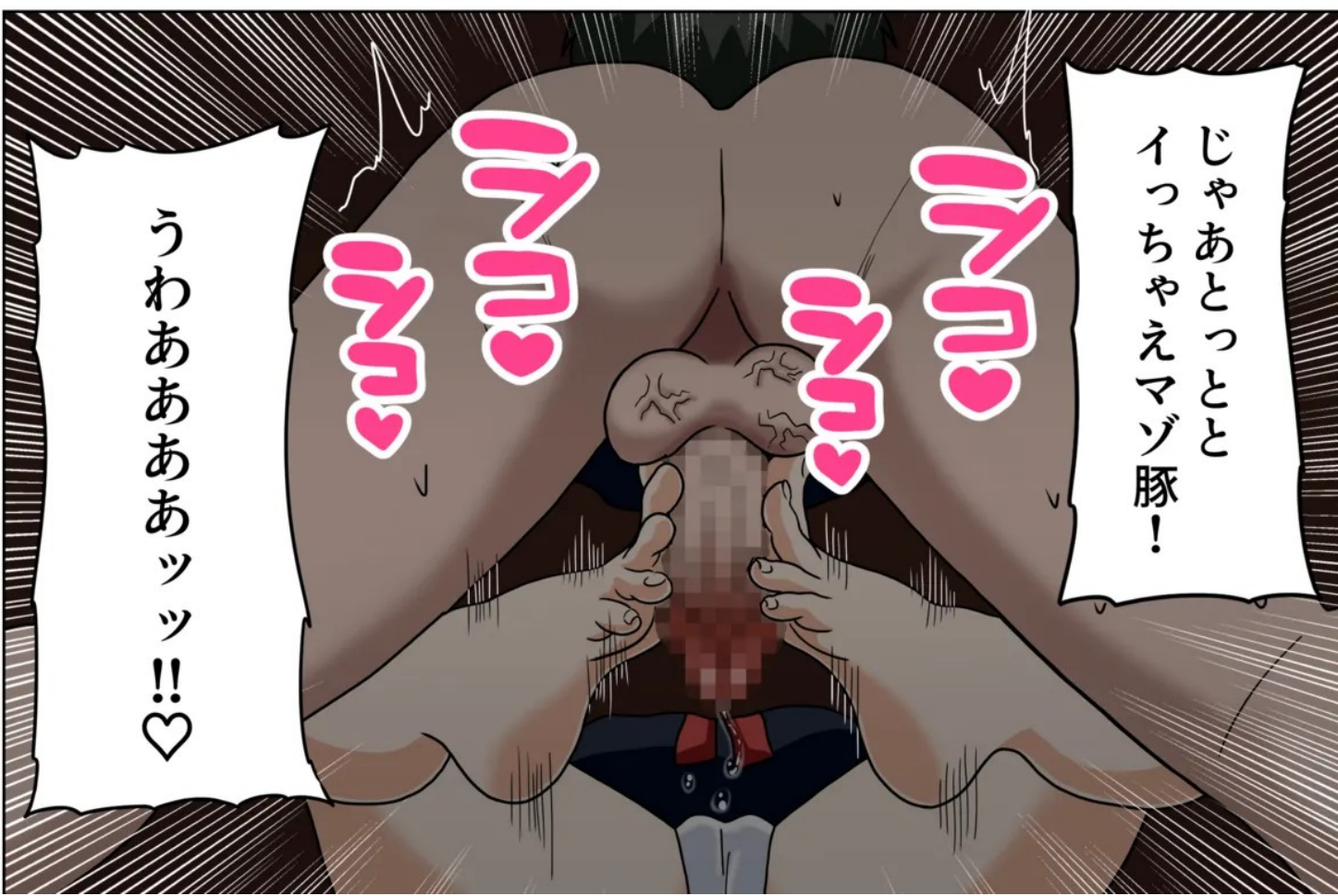


あっそ!



ごめん

やっぱりそれは
出来ない…

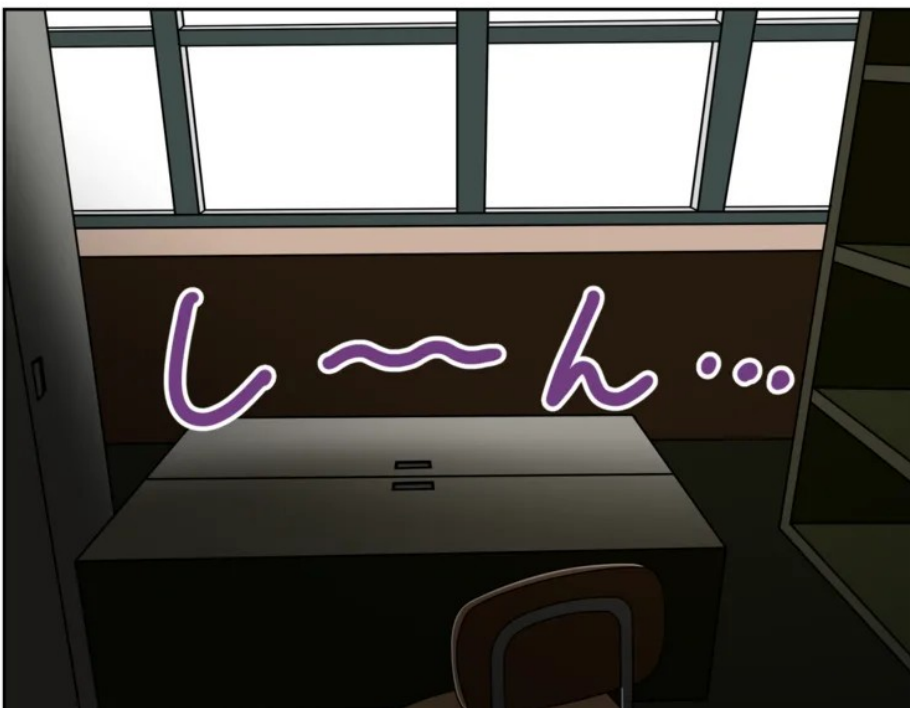
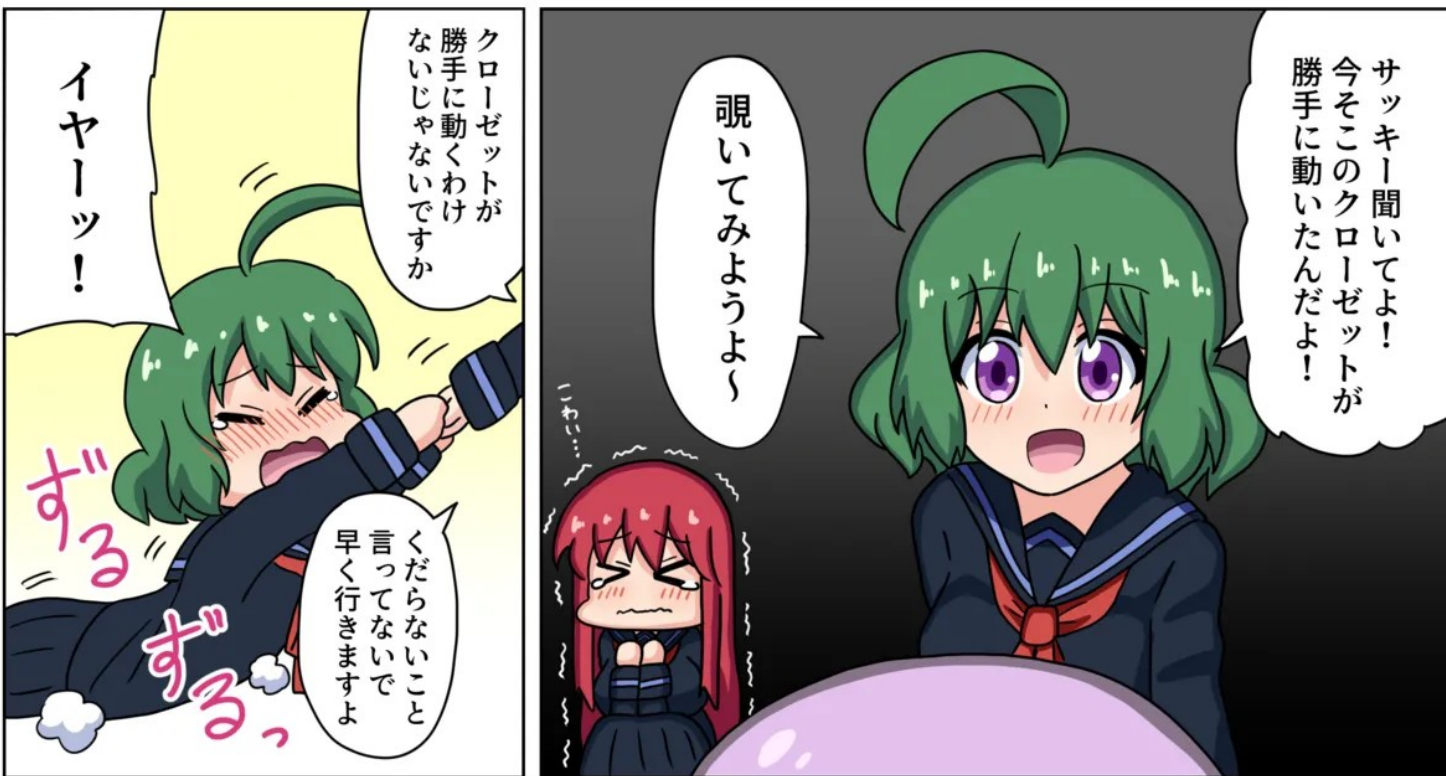


じゃあとつとと
イっちゃえマゾ豚!

ムンムン
ムンムン

うわあああッッ!!♡







泣いてるの？

よしよし
バレるのが
怖かったのね

まあまあ
楽しませて
もらったし…

アンタには
プレゼントを
あげる♡

…？

もう大丈夫よ

おとなしくしててね
挟まると痛いわよ

カキカキ…

えっ…何？
今の音…



こっ…
これはっ!?

ふふ…なかなか
似合ってるじゃない♡



もわあ…

キイイイ



貞操帯よ

アンタはもう
私の許可無しでは
射精も許されない
身体ってワケ

これから
たくさん調教して
私好みの奴隷に
改造してあげるわ

楽しみね
…ケイ♡

魅足学園